令和８年度小松市立今江小学校　学校評価　１（計画）

めざす児童生徒像

いのち・・・・・・挑戦する力　～向上心をもち、運動に親しみ、粘り強くチャレンジする子～
まなび・・・・・・更新する力　～身につけた学びをアウトプットし、共に高め合う子～
えがお・・・・・・実行する力　～よりよい学校・学級のために考え、選択・決定し実践する子～

※児童生徒結果－教員結果･保護者結果

	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目		数値・アンケート結果（%） 教員	児童生徒	保護者	※差	達成状況の分析	改善策
学校重点項目（学校で設定）	組織運営	①の肯定的な評価が９０％以上	①	ロードマップやカリキュラムマップを活用し、学校経営計画の実現に向けて、主任を中心に職員が連携しながら、共通理解し、共通実践に努めている。						
			集計							

	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目						達成状況の分析	改善策
	働き方や業務の改善	①の肯定的な評価が８０％以上 ②時間外平均が３０時間以内	①	時間外在校等時間の月平均を30時間以内にするため、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			②	時間外在校等時間の月平均が30時間以内にする。						

	項目		目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目		数値・アンケート結果（%） 教員	児童生徒	保護者	※差	達成状況の分析	改善策
小松市共通重点項目	指導力の向上	学校研究	**①②の各項目の肯定的な評価が90％以上**	①	研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、具体的な取組を共通実践している。						
				②	授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。						
				集計							
		「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	⑥⑦（重点項目）の各項目の肯定的評価が 中間…85％以上 期末…90％以上	①	児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				②	児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができている。						
				③	児童生徒は、自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④	児童生徒は、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。						
				⑤	児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、友達と考えを共有したり比べたりすることができている。						
				⑥	具体的なゴールから逆算して、授業デザインや単元構想を行っている。						
				⑦	児童が学びを更新するために、「ちょいすご授業」等を用いて、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図っている。						
				集計							
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	①②③の各項目の肯定的な評価が９０％以上	①	指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
				②	児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のＰＤＣＡサイクルを確立している。						
				③	全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。						
				④	校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。（小中連携）						
				集計							
		学習方法	①の肯定的評価が８０％以上	①	児童生徒は、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。						
				②	児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、自分のペースで理解しながら学習を進めることができている。						
				集計							